

事務事業名	30225 都市計画道路前谷馬場線整備事業													
担当組織	都市整備部				まちづくり推進課				担当	新曽中央整備担当				
組織コード	R3	20	03	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	04	02	01	01	記入日	令和 3年 6月18日
	R2	20	09	00		R2	01	08	04	02	02	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補	
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち									● 対象  ○ 対象外	
分野	03	道路										
施策	54	道路網の整備・充実										
事業期間	平成21年度～令和8年度											
根拠法令 通達等	都市計画法、道路法				関連計画 施政方針	第2次戸田市都市マスタープラン（改定版）						
事業区分	○ 法定受託事務      ● 自治事務のうち義務的なもの      ○ 自治事務のうち任意のもの											
対象	歩行者や車両などの道路利用者											
事業目的	都市における円滑な交通の確保、豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成を図り、安全で快適な都市生活と機能的な都市活動に寄与することを目的とする。											
事業内容	戸田駅へのアクセス道路として、また市中央部の南北を結ぶ幹線道路として整備を実施する。											
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託                      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ( )											

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業費		107,304	193,564	237,124	275,514	166,327	
	財源 内訳	国庫支出金	31,000	40,833	79,214	78,964	77,801	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	445	0	0	0	0	
		一般財源	75,859	152,731	157,910	196,550	88,526	
	人件費		10,039.8	9,347.4	9,347.4	9,347.4	9,347.4	
	投入 人員	常勤職員	1.45人	1.35人	1.35人	1.35人	1.35人	
		非常勤職員	0人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	
事業費+人件費		117,344	202,911	246,471	284,861	175,674		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動 ①	物件移転補償調査	筆	用地買収箇所調査	4	2	4	
					4	1	-	
	成果 ①	用地買収面積	㎡	用地取得面積 (全体取得面積4,035㎡)	87.33	294.67	294.67	
					51.57	0	-	
成果 ②						-		
目標達成 状況 の分析		C：活動・成果ともに達成できなかった。 <判断理由> 物件移転補償調査及び用地買収については、新型コロナウイルス感染防止対策の影響により地権者交渉が難航し、目標に達することができなかった。						

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 市民が安全で快適に移動できるようにするためには重要な事業であり、豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成を図るための用地交渉が進められており、目標達成に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 本業務は、県の設計基準、単価に基づき積算し、入札により受注者を決定しており、経費水準は適正である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 都市計画道路を整備する一般的な手順（基本設計・用地測量・用地交渉・実施設計・工事実施）を踏んでいくことから、事業手法は適正である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	A	A	A	<判断理由> 本市中央部を南北に結ぶ路線であり、戸田駅へのアクセス道路である。また通学路でありながら歩道が配置されていない状態であることから、交通安全対策の充実、更には景観に配慮した整備が求められており、受益・負担は適正な範囲である。

## 4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 新曽柳原交差点から二枚橋交差点の区間（第一工区）については、事業完了に向け、電線共同溝整備を含めた本整備工事を実施していく。また、戸田駅西口交差点から新曽柳原交差点の区間（第二工区）については、引き続き地権者と合意形成を図りながら、用地取得していく。
今後の取組方針	新曽柳原交差点から二枚橋交差点の区間（第一工区）については、関係機関や地先権利者と調整を図りながら、電線共同溝整備を含めた本整備を進める。また、戸田駅西口交差点から新曽柳原交差点の区間（第二工区）については、地権者と合意形成を図りながら用地買収を進め事業を推進していく。なお、国庫補助金を活用して事業を実施する。

事務事業名	52943 都市交通事務費													
担当組織	都市整備部				都市交通課				担当	交通安全担当				
組織コード	R3	20	05	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	02	02	01	01	記入日	令和 4年 3月 3日

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち										○ 対象 ● 対象外	
分野	03	道路											
施策	54	道路網の整備・充実											
事業期間													
根拠法令 通達等							関連計画 施政方針						
事業区分	○ 法定受託事務      ○ 自治事務のうち義務的なもの      ○ 自治事務のうち任意のもの												
対象													
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）												
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託                      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 (      )												

2. 実施結果

事業の 予算・実績			令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業内容							
財源内訳	事業費		0	424	0	0	0	
	国庫支出金		0	0	0	0	0	
	県支出金		0	0	0	0	0	
	起債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		0	424	0	0	0	
人件費		0	0	0	0	0		
投入 人員	常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		0	424	0	0	0		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①							-
	活動②							-
	成果①							-
	成果②							-
目標達成 状況 の分析	- : 未設定 <判断理由>							

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

## 4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由>
今後の取組方針	

事務事業名	52923 道路整備事業													
担当組織	都市整備部				都市交通課				担当	地域公共交通担当				
組織コード	R3	20	05	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	02	02	02	01	記入日	令和 3年 6月18日

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち											○ 対象 ● 対象外
分野	03	道路											
施策	54	道路網の整備・充実											
事業期間													
根拠法令 通達等												関連計画 施政方針	
事業区分	○ 法定受託事務      ○ 自治事務のうち義務的なもの      ○ 自治事務のうち任意のもの												
対象													
事業目的	歩行者と自転車に関連する交通事故の発生割合が増加している傾向にあることから、安全な歩行空間の確保を第一義とした道路空間の再配分を行い、自転車レーンの整備と歩行者・自転車・自動車の3者それぞれの安全性と円滑性を高める。												
事業内容	歩行者自転車道路網整備計画の推進、道路空間再配分の検討、歩行者・自転車・自動車走行空間設計及び工事、自転車走行空間を明示する路面標示の実施												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託                      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 (      )												

2. 実施結果

事業の 予算・実績			令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業内容							
事業費			0	12,272	0	0	0	
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0	
	県支出金		0	0	0	0	0	
	起債		0	0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	0	
	一般財源		0	12,272	0	0	0	
人件費			0	0	0	0	0	
投入 人員	常勤職員		0人	0人	0人	0人	0人	
	非常勤職員		0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費			0	12,272	0	0	0	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①							-
	活動②							-
	成果①							-
	成果②							-
目標達成 状況 の分析	- : 未設定 <判断理由>							

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

## 4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	
見直しの効果	

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由>
今後の取組方針	

事務事業名	40347 歩行者自転車道路整備事業													
担当組織	都市整備部				都市交通課				担当	交通対策担当				
組織コード	R3	20	05	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	02	02	02	98	記入日	令和 3年 6月15日
	R2	20	09	00		R2	01	08	02	03	02	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち								● 対象  ○ 対象外			
分野	03	道路											
施策	54	道路網の整備・充実											
事業期間	平成25年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	道路法 道路構造令 道路橋示方書 埼玉県福祉のまちづくり条例				関連計画 施政方針	戸田市第4次総合振興計画 戸田市都市マスタープラン 戸田市環境基本計画 戸田市歩行者自転車道路網整備計画							
事業区分	○ 法定受託事務      ○ 自治事務のうち義務的なもの      ● 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民、通行者及び沿道利用者												
事業目的	歩行者と自転車に関連する交通事故の発生割合が増加している傾向にあることから、安全な歩行空間の確保を第一義とした道路空間の再配分を行い、自転車レーンの整備と歩行者・自転車・自動車の3者それぞれの安全性と円滑性を高める。												
事業内容	歩行者自転車道路網整備計画の推進、道路空間再配分の検討、歩行者・自転車・自動車走行空間設計及び工事、自転車走行空間を明示する路面標示の実施												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託                      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 (      )												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業費		211,524	70,630	57,266	46,431	36,768	
	財源内訳	国庫支出金	28,870	6,930	13,922	18,752	13,340	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	99,400	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	83,254	63,700	43,344	27,679	23,428	
	人件費		4,569.84	9,347.4	9,347.4	9,347.4	9,347.4	
	投入 人員	常勤職員	0.66人	1.35人	1.35人	1.35人	1.35人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		216,094	79,977	66,613	55,778	46,115		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動	①	歩行者安全対策実施延長	m	歩行者と自転車の通行箇所分離工事実施総延長	8,880	10,525	
						7,350	10,105	-
	成果	①	自転車レーン整備率	%	整備延長/総延長(28.7km)	30.9	36.6	
						25.6	35.2	-
	成果	②						
目標達成 状況 の分析		C：活動・成果ともに達成できなかった。 <判断理由> 自転車通行空間の整備にあたり、交通管理者（埼玉県警）との協議などにより、一部の箇所では整備することができず、目標の達成に至らなかった。						

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 誰もが安心して通行できる道路環境を実現するため、歩行者、自転車、自動車がそれぞれの交通特性に応じた安全な空間を確保することが必要であり、施策への貢献度は高いと考えられる。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 本業務は県の設計基準及び単価や見積もりにより適切に積算をした後に、入札により業者を決定しており、経費は適切な範囲である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 歩行者が安心して通行できる道路空間を提供するため、自転車通行空間の設置や歩道整備は必要であり、事業手法は適切である
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 交通量が多い路線やネットワーク化を考慮し、整備を進めていることから、受益・負担の公平性は適切である。

## 4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	自転車通行空間整備工事は設計業務と整備工事を同一年度において実施していたが、前年度に設計業務を実施することとした。
見直しの効果	上半期から計画的に工事を発注することで、入札の不調がなくなり、業務を平準化することができた。

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 令和3年度から「第2次戸田市歩行者自転車道路網整備計画」が施行され、歩行者を第一とした道路空間の整備を行い、歩行空間、自転車通行環境のより一層の安全性、快適性の向上を目指している。 今後も歩行者や自転車に関連する事故を抑制するための道路環境の創出が重要となることから継続とする。
今後の取組方針	第2次戸田市歩行者自転車道路網整備計画に基づき、自転車通行空間整備を中心に進めることで、歩行者や自転車利用者の安全性や快適性を図るとともに、路線のネットワーク化を推進する。 なお、令和3年度から「道路整備事業」に名称が変更となる。



事務事業名	7154 街路事務費													
担当組織	都市整備部				都市交通課				担当		交通対策担当			
組織コード	R3	20	05	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	04	02	98	98	記入日	令和 3年 6月17日
	R2	20	09	00		R2	01	08	04	02	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち									○ 対象 ● 対象外		
分野	03	道路											
施策	54	道路網の整備・充実											
事業期間	平成18年度～令和12年度												
根拠法令 通達等											関連計画 施政方針		
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象													
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）												
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託                      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ( )												

2. 実施結果

事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業内容	旅費、需用費、役務費、賃借料、負担金	旅費、需用費、役務費、賃借料、負担金	旅費、需用費、役務費、賃借料、負担金	旅費、需用費、役務費、賃借料、負担金	旅費、需用費、役務費、賃借料、負担金	
事業費	2,064	424	424	424	424	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	2,064	424	424	424	424
人件費	692.4	1,731	1,731	1,731	1,731	
投入人員	常勤職員	0.1人	0.25人	0.25人	0.25人	
	非常勤職員	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費	2,756	2,155	2,155	2,155	2,155	
目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①					-
	活動②					-
	成果①					-
	成果②					-
目標達成状況の分析	- : 未設定 <判断理由> 街路事務事業全般に亘る庶務的事務であり、事務事業評価にそぐわないため。					

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

## 4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 事業全般を円滑に推進するため必要な経費であり、大きな見直しはなく、現状のまま継続するため、事業の統合後も本事業の内容を継続する必要がある。
今後の取組方針	街路事業や都市交通に係る事務を円滑に推進するため必要な経費であり、大きな見直しはなく、現状のまま継続する。 なお、令和3年度から「都市交通事務費」に名称が変更となる。